

令和元年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修 成果報告書

校長・准校長サイン	名前
-----------	----

学校名 府立久米田高等学校	名前
---------------	----

1 学校教育目標（めざす生徒像）

- 地域の第一線で頼りにされ、愛され、そして地域を支えていく「地域の星」となる人材を育成する。
- 教科指導および進路指導の強化、さらに部活動や学校行事を通して生徒の進路選択肢を増やし、将来幅広い分野で活躍できる人材を育成する。
- 自らを律し、他人に思いやりを持ち、何事にも誠実に取り組む態度を育成する。
- 共生推進教室の設置により、ノーマライゼーションを推進できる人材を育成する。
- 国際交流活動を通して、多様性を享受する能力を育成する。

2 令和元年度の校内研究の取組み

(1) 研究テーマ及び設定理由

①研究テーマ

- ・令和4年度からの新教育課程をふまえた「めざす生徒像」を教員間で共有する。
- ・学校全体の授業力の向上をめざし、教員間での意見交換の機会を増やす。

②テーマ設定理由

- ・昨年度まで授業改善を組織的に行う機会が少なく、他教科の授業内容を知る機会も少なかった。今年度はパッケージ研修初年度ということで、校内全体で授業や生徒について考える雰囲気作りをすることが重要であると考えた。
- ・教員間で「どのような生徒を育てたいか」という目標を言語化し、共通認識とすることで、学校全体で取り組む意識が生まれると考えた。
- ・「学校教育自己診断」の教職員向けアンケートにおいて「他教科を含む教員の間で、授業見学や授業方法の意見交換などを行い、教育力の向上に取り組んでいる」という項目に対して「よくあてはまる」の割合が低く、日々の業務の中で意見交換の場を作り、他教科の授業実践について知るきっかけ作りをしたいと考えた。

(2) 校内研究の取組みについて

①研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

- (ア) 生徒の現状を分析し、「めざす生徒像」に近づくための授業実践を考える。
- (イ) 同じ教科はもちろん、他教科間で授業実践に関する意見交換をする場を増やす。

②具体的な取組み

- (ア) 生徒の現状を分析し、「めざす生徒像」に近づくための授業実践を考える。
 - ・7月に校内全体研修を行い、生徒の現状について意見交換を行う。
 - ・校内全体研修で「めざす生徒像」に近づくための授業について意見交換を行う。
 - ・校内全体研修の様子や交わされた意見をまとめ、共有し、共通理解とする。

- (イ) 同じ教科はもちろん、他教科間で授業実践に関する意見交換をする場を増やす。
- ・ 9月に授業アンケートの内容の振り返りを行う。
 - ・ 授業実践についてのアンケートを行い、他の教員の実践を知る機会を作る。
 - ・ 「めざす生徒像」を念頭において、年間2回研究授業を行う。
 - ・ 全教員を対象とした研究協議を行い、意見交流の場を設ける。

③取組みの検証方法

- (ア) 生徒の現状を分析し、「めざす生徒像」に近づくための授業実践を考える。
- ・ 生徒向け授業アンケート項目「授業計画」「教材活用」「授業展開」の校内平均値の第1回と第2回を比較。
 - ・ 生徒向けの学校教育自己診断の質問項目「教え方に様々な工夫をしている先生が多い」の肯定的な意見の割合。
- (イ) 同じ教科はもちろん、他教科間で授業実践に関する意見交換をする場を増やす。
- ・ 教職員向けの学校教育自己診断の質問項目「他教科を含む教員の間で、授業見学や授業方法の意見交換などを行い、教育力の向上に取り組んでいる」の肯定的な意見の割合。
 - ・ 第2回研究協議後に行う教職員向けの校内研修に関するアンケート。

3 取組みの検証

(1) 校内研究の成果

- (ア) 生徒の現状を分析し、「めざす生徒像」に近づくための授業実践を考える。
- 7月に「久米高星ってどんな星？～久米田の現状と課題の共有」と題して、校内全体研修を行った。この研修の目標は以下の3点である。

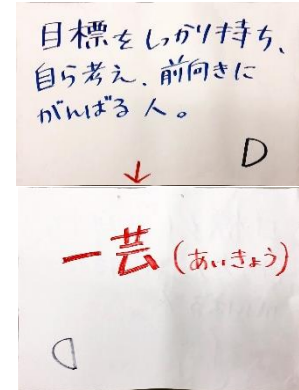
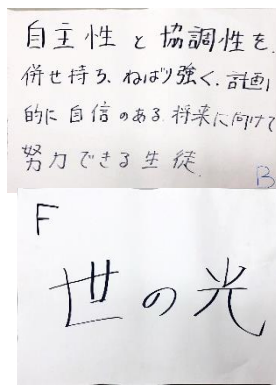
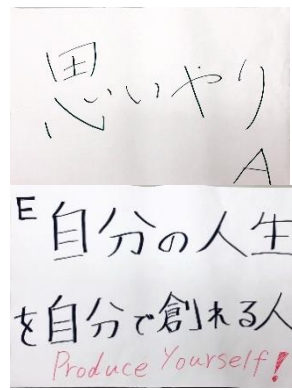
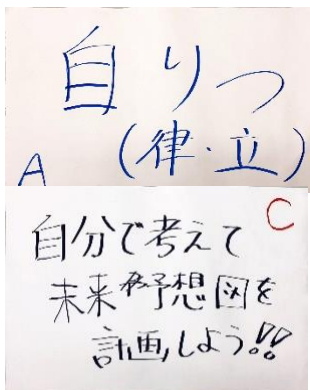
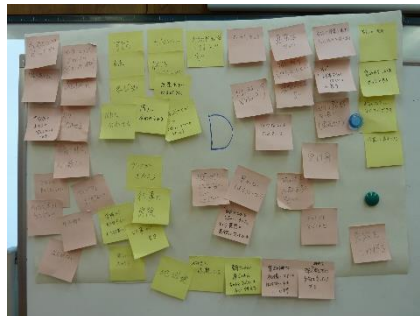
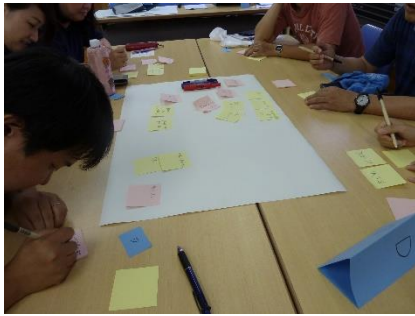
- ・ 久米田高校生の現状を再確認し、共有する。
- ・ 久米田の「めざす生徒像」を考える
- ・ 授業、そして授業以外の場面で、どのような取組みができるか考える。

この目標を達成するために、次の流れで研修を行った。グループ分けは、当日にくじびきで決めた。グループでの共有は、個人で意見を書いた付箋を模造紙に貼っていくことで行った。

- ① 久米田高校生の「ええところ」「ちょっとここは…」というところを挙げる。
【個人→グループ→全体】
- ② 久米田高校の「めざす生徒像」を考える。
【個人→グループ→全体】
- ③ 「めざす生徒像」を育てるために、授業・授業以外の場面で私たちができることを考える。【個人】

各グループで発表された「めざす生徒像」と、それに向けた方策の案は、プリントにまとめ、全教員に配布し、内容を共有した。

校内全体研修の様子



(イ) 同じ教科はもちろん、他教科間で授業実践に関する意見交換をする場を増やす。

- ・第1回目の生徒アンケート(7月実施)の結果を踏まえ、全教員に「現在授業で実践していることでうまくいっていること」「今後留意したいこと、今後取り組みたいこと」をアンケート用紙に記入してもらい、A4版7枚にまとめ、全教員にフィードバックした。
- ・9月に研究授業(数学科、3学年「理数数学特論」)を行った。なるべく多くの方が見学できるように、同じテーマで3回研究授業を実施した。研究授業のテーマは、7月の校内全体研修での意見を踏まえ、以下のように設定した。

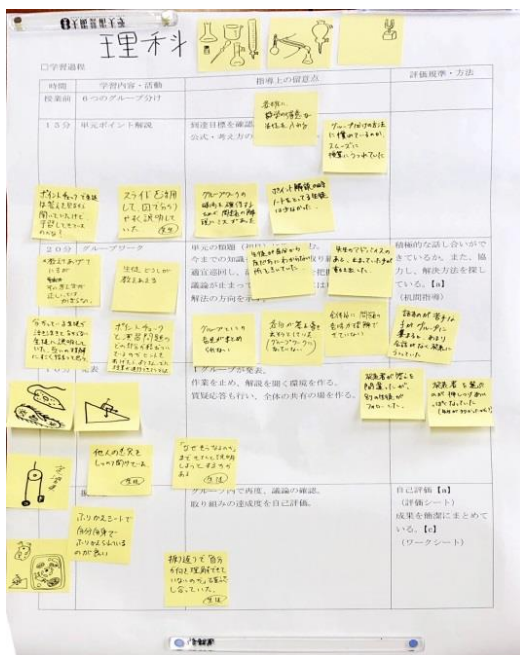
「考えること」に重点をおいた授業
 ※グループワークを通した「学びあう場」作り
 ※発表を通した「発信する力」の育成

このテーマをもとに、授業見学シートに気付いたことを記入してもらった。その後、授業見学シートを用いて研究協議を行い、授業内容の振り返りとともに、各教科のグループに分かれ「考えること」に重点をおいた授業実践について意見交換した。教科ごとに出た意見を模造紙にまとめ、全体で共有した。研修終了後も模造紙の前で積極的に意見交換する姿が見られた。

第1回研究協議の様子



第1回研究協議で作成した模造紙



- ・11月に第2回目の研究授業（公民科、1学年「現代社会」）を行った。第1回目と同様に、同じテーマで3回研究授業を実施した。研究授業のテーマは次のように設定した。

「集中力の維持」「思考し、表現する」ことに重点をおいた授業
 ※1時間の授業を通して、集中力を維持する工夫
 ※要約・自分の意見の記述を通した「思考力・表現力」の向上

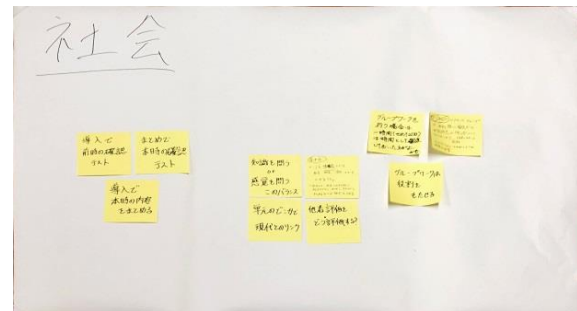
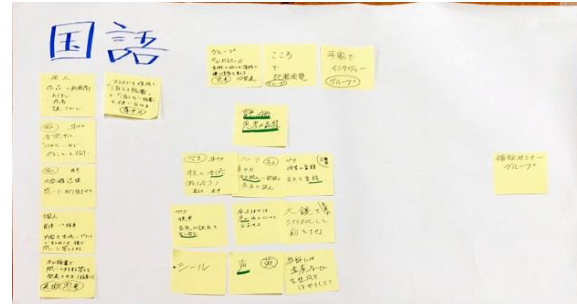
このテーマをもとに、授業見学シートに気付いたことを記入してもらった。その後、授業見学シートを用いて研究協議を行い、授業内容の振り返りとともに、各教科のグループに分かれ「思考力・表現力を養う」授業実践について意見交換した。教科ごとに出た意見は模造紙にまとめ、ポスターセッション形式で自教科の取り組みを他教科に紹介し、意見交換を行った。

第2回研究協議の様子



第2回研究協議で作成した模造紙

国語		雰囲気	メリハリ	タイム
時間	学習内容・活動			
5分	小テスト	制限時間は5分。普段のテストと同じような緊張感を持たせる。		授業内容を十分に理解している。【d】
10分	本時の目標確認	時間を決めて、プリントに本時の目標を書かせ、その概要を説明する。		
10分	①冷戦の始まりについて ②冷戦の激化について ③国際連合の問題点について	①冷戦の意味を確認する。冷戦が発生したきっかけを写真や地図などを提示しながら説明する。 ②米ソの対立を政治・経済・軍事の面から確認する。 ③総会・安保理の概要を確認する。問題点をポイントを絞って説明する。	積極的にメモを取っている。【d】(授業ノート)	15分の限界
10分	①記述式答案作成(ベルリンの壁について) ②記述式答案作成(キューバ危機について)	ベルリンの壁に関する資料を読んで、プリントに書かれた条件の下、意見を記述させる。 キューバ危機に関する資料を読んで、プリントに書かれた条件の下、意見を記述させる。	ポイントを押さえ、読み手に伝わる表現で記述している。【b・c】(ワークシート)	自分とまじめに向き合っている。
7分	他者評価	プリントを交換した人の文章が分かりやすいか、判断し、コメントを記入するよう指示を出す。	他者評価【b】(ワークシート)	ほめ上げシェア



(2) 生徒の変容（授業改善により生徒にどのような育ちが見られるか）

生徒向け授業アンケート項目「生徒の意識」の校内平均の値を比較した。「授業に興味・関心を持つことができたと感じている」の項目は第1回から第2回で0.06上昇、「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」の項目は0.05上昇し、2つの項目両方とも値が上昇していた。

また、学校教育自己診断の生徒の回答で、「授業内容は難しいが、進路実現に役に立つと思う」の項目において、肯定的な意見(よくあてはまる、ややあてはまる)が昨年度よりも上昇した。

平成30(2018)年度	→	令和元(2019)年度
73.0%		78.7%

生徒が授業を肯定的にとらえ、前向きに取り組んでいる様子を読み取れる。

(3) 教員の変容（授業改善により教員が何を学んだか・どんな感想をもったか）

生徒向け授業アンケート項目「授業計画」「教材活用」「授業展開」の校内平均の値を比較した。「先生は毎時間、授業の目標や大切なポイントを説明してくれる」の項目は第1回から第2回で0.03上昇、「先生はプリント等の教材やICT機器を効果的に活用している」の項目は0.04上昇、「生徒が自ら考える時間や発表する活動を多く取り入れている」の項目は0.14上昇しており、3つの項目全てで値が上昇していた。

また、学校教育自己診断の生徒の回答で、「教え方に様々な工夫をしている先生が多い」の項目において、肯定的な意見が昨年度よりも上昇した。

平成30(2018)年度	→	令和元(2019)年度
91.3%		93.1%

加えて、学校教育自己診断の教職員の回答で、「他教科を含む教員の間で、授業見学や授業方法の意見交換などを行い、教育力の向上に取り組んでいる」の項目において、「よくあてはまる」と答えた割合が昨年度よりも大きく上昇した。

	平成30(2018)年度	→	令和元(2019)年度
よくあてはまる	1.5%		18.5%
ややあてはまる	42.4%		35.4%

第2回研究協議後の教職員向けアンケートにも次のような意見があった。

- ・ペアワークやグループワークを積極的に取り入れるようになった。
- ・ICT機器の活用を始めた。
- ・生徒が発表する機会を増やした。
- ・生徒にどんな力を付けさせたいか、どんな生徒を育てたいか、意識して授業づくりをするようになった。
- ・生徒に考えさせる仕組みを意識して授業を組み立てるようになった。
- ・他教科からの刺激を得られ、工夫が広がった。

以上の結果より、校内全体研修で考えた「めざす生徒像」に向けた授業が実践され始めており、教員の授業作りに向けての意欲の向上や、他教科との意見交換が増えていることが考えられ、授業改善において一定の成果が得られたと感じる。

4 今後に向けて

(1) 今年度の課題

- ・ 授業見学のハードルの高さ
なるべくたくさんの方に授業見学してもらえるように、研究授業を同じテーマで3回実施し、さらにビデオ撮影もし、誰もがいつでも映像を見ることができる体制を作った。しかし、日々の業務の忙しさゆえに時間が作れず、見学したくてもできないという意見が多かった。
- ・ 教科間での意識の違い
研究授業・研究協議のテーマとして「考えること」「思考力」「表現力」などを挙げたが、教科によって同じテーマでも視点は様々であり、議論が進まない場面が見られた。座学授業と実技授業の違いもあり、研修を進めていく際には注意が必要であった。
- ・ 研究授業を担当する教員の負担
研究授業において、指導案作成など担当者一人に負担が集中することになり、改善が必要だと感じた。

(2) 次年度に向けて

- ・ 今年度の校内全体研修で考えた「めざす生徒像」は、生徒も教員も変わるので、毎年話し合い更新していく必要がある。
- ・ 第2回研究協議後のアンケートで「いろいろな教科の授業を学びたい」という意見があった。他教科と意見交換をする機会を定期的に作りたい。
- ・ 「研究授業」や「研究協議」という形にこだわらず、日常的に授業見学ができたり、自由に意見交換ができるような仕組みを作ったりするなど、校内の雰囲気作りをしていくべきである。

令和元年度 校内研修年間実施報告

1 令和元年度の目標(テーマ・主題)

- ・令和4年度からの新教育課程をふまえた「めざす生徒像」を教員間で共有する。
- ・学校全体の授業力の向上をめざし、教員間での意見交換の機会を増やす。

2 実施日・内容等

月	日	校 内 研 究 の 実 際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	1		職員会議で周知
5	22	第1回ミーティング ・メンバー確認 ・今年度の目標や活動について ・校内研究年間計画の作成	
6	21	第2回ミーティング ・研究主題、研究仮説の検討 ・校内全体研修会の企画	
7	11	第3回ミーティング ・校内全体研修当日の流れにつ いての打ち合わせ	
7	18		第1回校内全体研修会 (14:00～15:30)
8	20	第4回ミーティング ・指導案検討	
9			「授業アンケート振り返り」の共有
9	9、11、17		第1回研究授業「理数数学特論」
9	13	第5回ミーティング ・第1回研究協議の進め方	
9	26		第1回研究協議(15:50～17:00)
10	24	第6回ミーティング ・指導案の検討	
11	14、15、18		第2回研究授業「現代社会」
11	21	第7回ミーティング ・第2回研究協議の進め方	
11	22		第2回研究協議(15:50～17:00)
1	30	第8回ミーティング ・今年度の振り返り ・次年度に向けて	

令和 2 年度 校内研修年間計画

1 令和 2 年度の目標(テーマ・主題)

- ・令和 4 年度から始まる新教育課程をふまえ、各教科での「めざす生徒像」を共有する。
- ・教科内での授業力向上に向けて、授業実践研究をする。
- ・学校全体の授業力の向上を目指し、教員間の意見交換の機会を増やす。

2 年間予定

月	日	校 内 研 究 計 画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	1		職員会議で周知
5	22	第 1 回ミーティング ・メンバー確認 ・今年度の目標や活動について ・校内研究年間計画の作成 ・授業見学週間の企画	
6	3	第 2 回ミーティング ・授業見学週間の企画、役割分担	
6			授業見学週間
7	3	第 3 回ミーティング ・校内全体研修会の企画、役割分担	
7	17		校内全体研修会
9			授業アンケートふりかえり
8	28	第 3 回ミーティング ・研究授業・研究協議の企画 ・指導案の検討	
10			研究授業
10		第 4 回ミーティング ・研究協議の企画、打ち合わせ	
11	12		研究協議
1		研究のまとめ 次年度に向けて	